

問1 外国為替相場が、1ドル=120円から1ドル=100円の状態へと変動した際、日本の経済に与える影響として最も適切な説明はどれですか。

(2023年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本を訪れる外国人観光客にとって、自国通貨を円に換えた際の金額が増えるため、買い物がお得になる。 | 2. 日本から海外へ輸出する自動車の現地販売価格が下がるため、海外市場での価格競争力が強まる。 | 3. 日本円の価値が相対的に下がるため、海外旅行へ行く際の日本円での支払い負担が増加する。 | 4. 火力発電の燃料となる液化天然ガス (LNG) などの輸入コストが下がり、電気料金の抑制につながる。 |
|---|---|---|--|

問2 市場経済において、価格が上昇すると生産者は利益を増やすために供給量を増やし、逆に価格が下がると供給量を減らす傾向があります。このような価格と供給量の関係を、縦軸に価格、横軸に数量をとった平面上に示した、右上がりの曲線を何と呼びますか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 需要曲線 | 2. 供給曲線 | 3. ラフアー曲線 | 4. 均衡曲線 |
|---------|---------|-----------|---------|

問3 コンビニエンスストアで生徒が店員に対して「ポップコーンを2つください」と商品を注文し、店員が「はい、かしこまりました」と応じた。その後、生徒は代金を支払い、店員からおつりとレシートを受け取った。この一連の流れにおいて、法的に「売買契約」が成立したとされるのはどの時点か。 (2024年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 店員が注文を承諾した時点 | 2. 生徒が商品を注文した時点 | 3. 生徒が代金を支払った時点 | 4. 店員がレシートを渡した時点 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|

問4 工業製品などの欠陥によって、消費者が生命、身体または財産に損害を被った際、製造業者の「過失（不注意）」を証明できなくても、製品に「欠陥」があったことを証明できれば、製造業者に対して損害賠償を請求できることを定めた法律を何といいますか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------------|-----------|-----------|
| 1. 独占禁止法 | 2. 製造物責任法 (PL法) | 3. 消費者基本法 | 4. 消費者契約法 |
|----------|-----------------|-----------|-----------|

問5 現代社会の経済において「サービス」の提供にあたる事例として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|---------------------------------|------------------------|------------------------------|
| 1. 学習塾で講師から勉強の解き方を教わること | 2. 工場で製造されたスマートフォンを家電量販店で購入すること | 3. 書店で学習のための参考書を購入すること | 4. スーパーマーケットで夕食のための野菜を購入すること |
|-------------------------|---------------------------------|------------------------|------------------------------|

問6 消費者と事業者の間で結ばれる「契約」の成立について述べた文として、法的に正しいものはどれですか。 (2019年 鳥根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 契約書を作成し、双方が署名や押印を行わない限り、法的な効力は発生しない。 | 2. 「買います」「売ります」という、当事者同士の口頭による合意があれば、書面がなくても法的に有効に成立する。 | 3. 代金の支払いが完了し、事業者が領収書を発行した時点ではじめて契約としての責任が生じる。 | 4. 注文した商品が消費者のもとに届き、内容に納得して受け取った時点で契約が成立する。 |
|---|---|--|---|

問7 家計、企業、銀行の三者間における資金やサービスの循環を示した資料に基づき、家計から企業へと向かう経済的な流れについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 商品やサービスを生産するための原材料を提供するとともに、企業が支払う賃金の額を決定する。 | 2. 企業の生産活動を支援するために銀行から借り入れた資金を提供し、その見返りとして配当金を受け取る。 | 3. 生産活動に必要な労働力を提供するとともに、購入した商品やサービスの対価として代金を支払う。 | 4. 公共サービスの対価として税金を納めるとともに、企業が生産を行うための土地や資金を無償で提供する。 |
|---|---|--|---|

問8 1960年代、高度経済成長や大量消費社会の進展に伴い、企業と消費者との間に情報の格差や力の差が生じました。これを受けて1962年にアメリカの大統領が提唱し、現代の消費者保護の考え方の基礎となった「消費者の4つの権利」を提唱した人物は誰ですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|---------------------|-----------|------------|
| 1. ニクソン大統領 | 2. フランクリン・ルーズベルト大統領 | 3. オバマ大統領 | 4. ケネディ大統領 |
|------------|---------------------|-----------|------------|

問9 為替相場が1ドル116円から1ドル112円へ変動した状況において、海外から1バレル54ドルの原油を100バレル輸入する場合の円換算での支払額と、その時の通貨の状態について述べた文として正しいものはどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 円高の状態であり、112円の時の支払額は60万4800円となる。 | 2. 円安の状態であり、112円の時の支払額は62万6400円となる。 | 3. 円高の状態であり、112円の時の支払額は62万6400円となる。 | 4. 円安の状態であり、112円の時の支払額は60万4800円となる。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問10 為替相場が1ドル=100円から1ドル=75円へと変動する「円高」が発生した際、日本から150万円の自動車を輸出する場合の状況について、正しい説明はどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本国内の物価が下落して製造コストが大幅に下がるため、海外での販売価格を下げることで、輸出に有利に働く。 | 2. 現地での販売価格が15,000ドルから10,000ドルへと安くなるため、海外で製品が売れやすくなり輸出に有利に働く。 | 3. 1ドルあたりの円の数値が小さくなることで、海外で得た外貨を日本円に換算した際の受取額が増えるため、輸出に有利に働く。 | 4. 現地での販売価格を15,000ドルから20,000ドルに引き上げる必要が生じるなど、価格競争力が低下して輸出に不利に働く。 |
|---|---|---|--|

問11 需要曲線と供給曲線を用いた分析において、ある時点の価格における「供給曲線が示す数量」が「需要曲線が示す数量」よりも右側に位置している場合の市場の動きとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 売り手よりも買い手の希望が上回る超過需要の状態であり、価格には上昇圧力が加わる | 2. 買い手よりも売り手の希望が上回る超過供給の状態であり、価格には下落圧力が加わる | 3. 需要と供給が一致している状態であり、価格の自動調節作用によって価格は固定される | 4. 価格が高すぎて市場が機能していない状態であり、公定価格による政府の介入が行われる |
|--|--|--|---|

問12 為替レートが「1ドル=100円」から「1ドル=135円」へと動く現象の名称と、その状況下における日本の経済への影響について、正しい記述を選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. この現象を円安といい、海外から輸入する原油や食料品の価格が上昇するため、国内の物価が上がる要因となる。 | 2. この現象を円高といい、輸出品の現地価格が安くなるため、自動車などの輸出産業の利益が拡大する。 | 3. この現象を円安といい、日本人が海外旅行へ行く際に、より少ない日本円で現地の通貨を交換できるようになる。 | 4. この現象を円高といい、輸入製品の価格が安くなるため、海外ブランド品などの購入が容易になる。 |
|--|---|--|--|

問13 外国為替市場において、1ドルの交換比率が80円から120円へと変化した場合のように、他国の通貨に対して日本円の価値が下がることを「円安」と呼びます。この円安が日本の産業に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本製品の海外での販売価格が実質的に下がるため、自動車などの輸出産業にとって有利に働く。 | 2. 海外から輸入する製品の価格が実質的に変わらないため、すべての産業において影響は生じない。 | 3. 日本製品の海外での販売価格が実質的に上がるため、自動車などの輸出産業にとって不利に働く。 | 4. 海外から輸入する原材料の価格が実質的に下がるため、電力やガスなどの輸入産業にとって有利に働く。 |
|---|---|---|--|